

藏内勇夫日本獣医師会会長

世界獣医師会（WVA）次期会長就任祝賀会が開催されました !!

令和6年9月20日（金）、東京・明治記念館において、**藏内勇夫**日本獣医師会会長（アジア獣医師会連合会長）の世界獣医師会（WVA）次期会長就任祝賀会が開催されました。約300名の皆さんが参加されました。

発起人挨拶は、**麻生太郎**自由民主党副総裁と**武見敬三**厚生労働大臣が行われました。



麻生太郎副総裁



武見敬三大臣

岸田文雄内閣総理大臣からは、以下のような「祝電」が寄せられました。

【岸田文雄内閣総理大臣：祝電】

藏内先生は日本獣医師会の会長にご就任以降、ワンヘルスの理念による取組みの重要性を訴え、これまで先進的な活動に取り組んでこられました。

会長就任の直後から、医師と獣医師のネットワークの構築、連携活動に取り組み、2016年に「第2回世界獣医師会-世界医師会“One Health”に関する国際会議」の日本開催、2022年11月にはアジア獣医師会連合（FAVA）の会長に就任し、このワンヘルスをテーマとしたFAVA大会を開催、世界各国から獣医師を日本に迎え大会を成功させるなど、これまでの功績が評価され、2023年には世界獣医師会会長から初めてとなる「ワンヘルス特別賞」が授与されました。

そして、各国の多くの獣医師からの期待の声とともに、「健康な地球を次世代に引き継ぐ」という自身の強い意志の下、このたびWVA次期会長選挙へ立候補し、大差をもって当選されました。

今後とも、藏内先生が確固たる信念と優れた指導力をもって、国境を越えたワンヘルスの普及に一層寄与されますことを期待するとともに、日本政府といたしましても、引き続きワンヘルス実践活動の推進等に尽力してまいります。

（一部抜粋）



藏内勇夫会長



横倉義武日本医師会名誉会長

藏内勇夫会長は、以下のような「謝辞」を述べられました。

【藏内勇夫会長：謝辞】

私は、2013年6月に日本獣医師会の会長に就任いたしました。この時に日本医師会の会長であった横倉先生から銀座に誘われました。

そこで二人で話をし、「医師と獣医師が手を携え社会に貢献していこう」と、ワンヘルスの取り組みをスタートとさせたのです。

私は世界獣医師会から「ワンヘルス特別賞」をいただき、各国の獣医師からは是非ともアジア地区から世界へワンヘルスを発信し、広めるべきであるとの声を受け、世界獣医師会次期会長選挙に立候補いたしました。

候補者は4名で一人はヨーロッパ地区獣医師会の会長で牛病の権威です。一人はアフリカ連合の南アフリカの会長、もう一人イギリス獣医師会の高名な会長であり、ヨーロッパ圏、大英帝国圏という枠組み、特にこの英語圏が一つになると当選は危うい。そこで4人の中でただ一人、昔から選挙は足で稼げといわれるように、ドブ板選挙を実行したのです。その結果、お陰様で7割の票をいただくことができました。

私は、今年からの2年間は次期会長として、2026年からの2年間は会長として、さらにその後の2年間は前会長として、合計6年間にわたりWVAの運営に携わることになります。

その間、藏内勇夫、そして日本獣医師会を支えていただいた皆様の更なる期待に応えるべく、各国の獣医師が国境の垣根を越えて、ワンヘルスの推進に主導的に取り組み、人類への貢献に努めるとともに、更なる獣医師の社会的地位の向上のために邁進してまいります。

ワンヘルスは、地球の健康を守るという運動です。我々人間は生態系の中で生きています。多くの生き物が作った空気と水をもらって生きています。同時に生態系を壊しているのです。ここを是正していく活動が、ワンヘルスなのです。まさに感染症対策もその活動が重要です。

是非このワンヘルスという運動を日本から世界に広めたいと思っております。

これから、人と動物、環境を一体的に捉え、様々な課題に取り組むことにより、このかけがえのない地球を未来の子供たちにしっかり渡していきたいと思っております。

(一部抜粋)



横倉名誉会長

麻生副総裁 藏内会長

2024年9月26日

福岡ワンヘルス協議会・事務局